

【警報】 那珂川のコクチバス急増中！

那珂川中流域を中心としてコクチバスが急増し、漁業関係者に大きな衝撃を与えています。コクチバスはオオクチバスと同じブラックバスの仲間で、水生昆虫や魚をエサにしている肉食性の魚類ですが、オオクチバスに比べて冷たい水や急な流れでも適応することができることから、オオクチバスが生息できないような水域まで侵入・定着し、生態系に大きな悪影響を及ぼすと考えられています。那珂川水系ではこれまでに何度かコクチバスが捕獲されていましたが、川の中で繁殖しているかはわかっていませんでした。

水産試験場が2007年4月～6月に行った生息実態調査で、コクチバスは那珂川の中流部に広く侵入し、一部の水域では繁殖していることがわかりました。この結果を受けて、栃木県那珂川連合会は刺網を用いてコクチバスの駆除を始めています。水産試験場では、捕獲されたコクチバスが食べているものを調べ、那珂川の生態系に与える影響を調査するとともに、駆除を行う場所や時期、漁具の使用方法など、効果的な駆除の方法について研究しています。

コクチバス、オオクチバス、ブルーギル等は外来生物法によって、放流すること、飼うこと、生きたまま移動することが禁止されています。また、栃木県ではこれら3魚種を内水面漁場管理委員会指示により、リリース(再放流)することも禁止しています。もし、これらの魚が釣れた時は決してリリースせずに、適切に処分して下さい。

